



ひがしべっふえきおもや  
東別府駅本屋

東別府 九州旅客鉄道株式会社  
市指定有形文化財（建造物）  
平成 15 年 2 月 5 日指定

明治 44 年（1911）11 月 1 日豊州線浜脇停車場として鉄道院によって開設された。その後、昭和 9 年（1934）4 月 15 日東別府駅に駅名を改称した。

駅舎は木造平屋建、寄棟造りで昔ながら

の面影を最も残している県内唯一の駅である。

本駅の 4 ヶ月前に開設された別府停車場は和洋折衷であるのに対し純和風造りである。

近年レトロな駅として外観は修復されたが当時の内装調度品であるシャンデリアや改札口、チッキ、ベンチなどの完全復元が望まれる。鹿児島県霧島市隼人町、肥薩線、嘉例川駅は完全復元を行い、現在「時間の止まった駅」として急行列車も観光のため停車をしている。

（外山 健一）